設計図書に対する質問の回答書

令和 7 年 7 月 15 日

入札参加業者 各位

東 広 島 市 長

工事（業務）名	令和 7 年度 東広島市下水道事業 高屋汚水幹線ほか改築設計業務（東 07-1）
工事（業務）場所	東広島市西条町、高屋町
工事（業務）担当課	下水道部下水道施設課
質問事項	<p>1 仕様書の 8 ページに記載されている「5. 圧送管腐食調査診断業務の視覚調査完了の上、令和 7 年 10 月末日までに圧送管修繕にかかる概算工事費を算出し、報告すること。」という条件については、作業の進捗状況次第では、協議による期限の延期は可能でしょうか。</p> <p>2 空気弁調査箇所 18 箇所全てカメラ挿入が可能であるか確認済みですか。挿入不可の箇所については、どのような対応を考えていますか。</p> <p>3 下水道圧送管腐食調査診断業務委託標準仕様書の第 5 章調査の実施（3）視覚調査によると「調査終了後の空気弁の再設置の際に、フランジガスケットやボルト・ナットについては、腐食や劣化が見られる場合は新しいものと交換する。」と明記されていますが、費用については別途契約変更の扱いになりますか。</p> <p>4 視覚調査については、縦断図に示してある「設計対象範囲」ですか。それとも机上スクリーニング後に決定するとのことですか。</p>
回答	<p>1 止むを得ない理由により、期限の延期が必要と判断される場合は、契約変更協議の対象とする。</p> <p>2 空気弁の着脱により、カメラ挿入が可能であることを確認済みです。その他、止むを得ない理由により、カメラ挿入不可となる箇所については、他の調査方法に変更することも含め、契約変更協議の対象とする。</p> <p>3 契約変更協議の対象とする。</p> <p>4 視覚調査については、空気弁・吐出し人孔から 30m 程度の範囲を想定している。ただし、曲管や仕切弁等の条件により可能な範囲とする。</p>

注 質問に対する回答は、入札公告に定める時期及び方法において閲覧に供する。